

KISC

財団法人 かごしま産業支援センター
Kagoshima Industry Support Center

創業や経営革新に
取り組むあなたを応援します。

Project Satsuma



株式会社 風月堂
代表取締役 馬場 基史朗 氏

SATSUMA
FUGETSUDO

CONTENTS

- 02 この人に聞く
- 03 女性経営者登場
- 04 特集 応援します！中小企業の経営革新！
- 06 実践！IT活用
- 08 ペンチャープラザコーナー②
- 09 平成21年度鹿児島県トライアル発注制度に係る発注製品等の決定！
- 10 平成20年度鹿児島県トライアル発注制度に係る発注製品等を評価しました！
- 12 「鹿児島県トライアル発注製品販売路開拓支援事業費補助金」による出展助成
- 13 研究開発の現場
- 14 受発注情報
- 15 Information

10月号

October 2009

この人に聞く！

活かせ、中小企業の組織力！
～厳しい環境を乗り切る秘訣～



鹿児島県中小企業団体中央会
会長 岩田 泰一

昨年秋以降の急激な景気の落ち込みにより、日本経済は瀕死の状態が続いております。一部調査の指標では、下げ止まりの調査結果も公表されておりますが、私ども中小企業者の景況感とはほど遠いものがあります。また、都市と地方との格差はこれまで以上に広がっており、本県中小企業にとっては厳しい経営環境が続いております。

中小企業の技術力向上を図り、国際競争力を強化するために、本年、国は『ものづくり支援』の施策を打ち出しました。これは、我が国経済の回復を、技術力と柔軟性を兼ね備えた中小企業に求め、景気回復の中核を担って欲しいと大いに期待しているのだと感じております。

このような中、私たち中央会は、中小企業の総合支援機関として、協同組合等を通じ経営効果を発揮するための支援を行っております。

中小企業は、一般的に小規模で資金調達力や情報収集力が弱いので、事業経営の上で不利な立場に立たされ、併せて国際化や多様で、高度化した消費者ニーズに大きな影響を受け、日々、経営判断が求められます。中小企業が、これらの環境に対応して、新たに持続して発展をしていくためには、個々の企業の自助努力と、組織化による相互扶助の精神のもと事業経営を充実・強化していくことが最も効果的であります。

組合を中心とし経済活動を推進するために組織化することで、生産性が高まり、価値実現力が向上し、対外交渉力も強化され、結果として経済的地位の向上につながることであり、大都市にも負けない強力な企業基盤が確立されると、私は確信しております。

更に、本会では、昨年よりスタートいたしました「地域力連携拠点事業」を積極的に推進し、会員企業への支援活動も行っております。日本経済の礎である中小企業者が様々な連携を活用しながら、自らの叡智をいかんなく発揮し活路を見出せるよう、経営力向上、創業・再チャレンジ、事業承継を支援し、元気創出を目指しております。

先日の総選挙により政権交代がなされました。戦後最大といわれる不況に直面し、新政権には中小企業振興のために最大限の施策を期待するとともに、私たち中小企業も、我慢の経営環境が続きますが、このような時こそ、持ち前の強みである機動力・柔軟性を活かし、組織による新たな活力の創出にチャレンジしていただきたく強く切望いたしております。

女性経営者登場!

新発見と初体験の繰り返し



ブイ・アイ・ティ・ジャパン
株式会社V. I. T. JAPAN
代表取締役 上窪 道代

鹿屋市田崎町2185-8

Tel 0994-43-8778

URL

<http://www2.synapse.ne.jp/vit-japan/>

創業のきっかけは

弊社は平成13年金型設計業務を主として開設、現在ではFRP製品の製造、販売と事業拡大し、新発見と初体験を繰り返す日々を送っています。

二世でも無く、技術者でも無い私が会社を設立する事になり、今までどうにかやってこられたのは唯一「周りの皆に助けられて来た」それ以外は何もありません。

そもそも勤務していた企業の金型部門からの撤退計画を聞いた事が始まりでした。

再就職の厳しさを覚悟し、将来計画の思案中に、当時の担当企業から「引き続き見てほしい」との相談を受け、同年代の技術者の同僚4人の後押しを受け、金型設計企業として独立する決心をしたのです。営業の必要はなく仕事も継続して入ってくる。今思えば不思議なくらい何の不安も抱かずに、それまでの勤めの延長位感覚で独立の一步を踏み出したのでした。

初めは自宅の一室にCADを数台詰め込んだスタートでした。しかし、設計の仕事をいただく、製造を外注任せにすることもままならず、設立早々トータルでの仕事を考えなくてはならない壁に突き当たりました。そんな時、スタッフが家庭を持ち大黒柱となることになったのです。その時初



＜上窪社長と社員のみなさん＞

めて、「何も言わずついて来てくれた仲間を路頭に迷わしてはいけません。彼らの家族への責任も一身に受けなくては。」と、遅ればせながら覚悟を固め、不動産の購入なんてもってのほか、資金の調達なんて「なんのこっちゃ？」程度の知識から事業展開を広げるため工場を構える事となりました。

並行してFRP製品も手がける事となり仕事もスタッフも想像以上に増え、設立前になんの覚悟もせずにスタートを切るなんて何て呑気だったのか、なんて無鉄砲なのかと後にして思いましたが、行動前に慎重に考える性格ならきつとスタートすら切れてはいなかったでしょう。

今後の展開は

弊社の業務は、金型20%、FRP製屋根瓦「アイルーフ」の販売60%、その他20%という具合です。金型設計↓金型製造↓製品製

会社の理念

こんな我社にもたった一つだけ理念という決まり事があります。「相手の利益無くして、己の利益無し」ただこれだけなのです。自分だけでなく周りの皆と心・物共に豊かになる事を目標にこれからも突き進んで、支えてくださった周りの皆様にいつか恩返しができるまで頑張りたいと思っています。



＜FRP製瓦で施工した屋根＞

造↓製品卸し↓小売販売と設立当初には考えていなかった事業展開となっています。FRP製品については、財かごしま産業支援センターの御支援により、二水会での発表の機会をいただきましたが、まだまだこれからだと思っています。国内でいち逸早く製品化し、現在年間千棟程度しか出荷出来ていませんが軽くて強い、安全・安心な屋根やFRP製品を幅広く知っていただく努力をして参ります。

応援します！中小企業の経営革新！

経営者のための経営革新支援制度活用術

経営革新テーマ『キビナゴの一夜干しの生産・販売』



＜代表取締役 東 秀継 氏＞

東和建設株式会社

＜ 企業概要 ＞

所在地：西之表市鴨女町128
 設立：昭和28年1月（法人化 昭和49年）
 資本金：20,150千円
 従業員数：10名（パート含む）
 業種：一般土木建築工事業
 TEL：0997-23-0039
 HP：http://www.yota-zzs.com/towa/
 計画承認：平成19年10月9日

種子島沖で獲れたキビナゴの中から大きくて形の良いものを厳選し、ふっくらと仕上げた一品

Q. 新事業にチャレンジしようとしたきっかけは

当社は、公共事業を中心とした建設業として経営を続けていますが、近年の公共工事の減少に伴い厳しい経営環境に陥っていました。この状況を打開する必要がある、自分の趣味であった干物作りで新事業ができないかと考えたことがきっかけです。

そこで、近年の健康志向から「魚食」へのニーズが高まりつつあることと、個人の鮮魚店などが細々と生産しているため、品質や規格がバラバラで、島外企業との大量取引には対応できていないことから、キビナゴの一夜干しの生産と販売を企画しました。

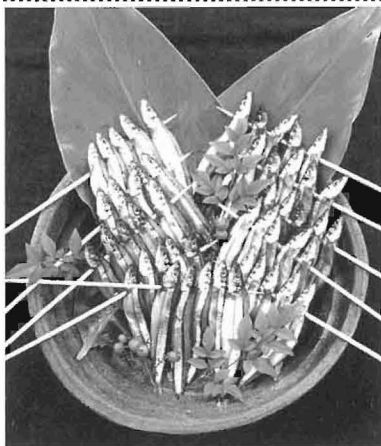
当初は、相談をした周りの方々全員が「キビナゴの一夜干し」の一品では絶対に成り立たないから止めたほうがいい」と反対され、私は1年以上悩みました。それでも、自分の好きなことを仕事にできればやりがいがあるし、後悔はしたくない、苦しいことでも乗り切れる自信がありましたので、「理論よりも一の実践」だと自分を奮い立たせ、取り組む決心をしました。

Q. 新事業の内容とはどのようなものですか

種子島漁協と連携して、綺麗な種子島の海の豊かな環境で育ったキビナゴの中で、大きくて形の良いものを厳選し、品質と規格の統一を図る「キビナゴの一夜干し」の生産と販売です。

＜当社一夜干しキビナゴの特徴＞

- ・不飽和脂肪酸（DHA、EPA）やカルシウムなどの栄養がたくさん
- ・子供から大人まで頭からまるごとおいしく頂けます
- ・冷凍だから、食べたいときに食べたい量だけ食べられて便利
- ・串に刺しているの、袋から出してそのままコンロ・魚焼き用グリル・オーブントースター等で焼くだけ、また、串から外してフライや天ぷらも
- ・お好みで、レモン・唐辛子などをかけても美味しく召し上がれる



＜一夜干しキビナゴ＞

展示会で予想を上回る手応えと評価として貴重な経験

Q. 経営革新の支援策利用状況を聞かせてください

県から承認されたことにより、政府系金融機関の低利融資を受け、空き倉庫を加工機械や冷風乾燥設備などを導入した加工工場に改装することができました。

また、平成20年度に県の補助金を活用して、東京で開催された「グルメ&ダイニングショー」と横浜で開催された「居酒屋産業展」に出展しました。展示会では、販路開拓に効果があったほか、飲食業関係者を中心に効率的に全国へPRでき、取引先を獲得することができました。

このようなことから、昨年度貴重な意見をいただいた展示会などの経験を踏まえ、今年度はさらに、既存商品に新たに開発した加工品もできました。今年度は、昨年度以上の成果を目指して、新たな販路を開拓し、地域経済へ貢献したいです。



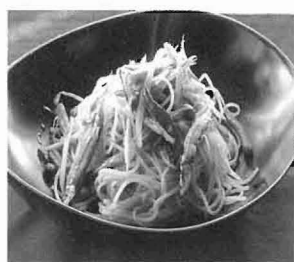
＜改装した加工工場の作業様子＞



＜商品化した種子島キビナゴ(一夜干し)＞



＜新開発の燻製処理済みパック＞



＜調理例＞
オイルきびなごと
ごぼうの Pasta



＜出展した横浜での
居酒屋産業展＞

「魚食」を通じて種子島の島おこしを

Q. 今後の事業展開について教えてください

種子島から全国へ向けた魚食（島の味）の発信に取り組んでいますが、新事業に取り組んでまだ2年経過したばかりであり、島内外知名度も高くなく、まだまだこれからというところです。これまでの取組に加えて、島の第1次産業への経済発展と地元の魅力度を高めていくことの重要性に気付かれています。

今後引き続き、高い付加価値を付けて販売する取組や、新しいサービスの追求を怠ることなく、「魚食」を通じて島おこしに貢献できるよう県内はもろんのこ、島外への「魚食」のPRも積極的にやっていきたいです。

また、地域資源を活用した特産品であると自信と自覚も持って、新事業に取り組んで行きたいです。

失敗を恐れず、果敢に挑戦する大切さを実感

新事業に取り組んだ当初は不安もたくさんありましたが、「この事業を展開して本当によかった。頭の中であれこれ考えることも大事ですが、失敗を恐れず、まず、実践してみる。」ということが、大切だと実感しました。

■ 経営革新支援制度のご案内 ■

新商品の開発・生産、新サービスの提供など新たな事業活動を通じて、経営の向上を図ること（経営革新）に積極的に取り組む中小企業を支援しています。

【経営革新計画の承認基準】

- ①新商品の開発又は生産、新役務の開発又は提供など新たな取り組みであること。
- ②付加価値額と経常利益の数値目標が次のとおりであること。

経営指標	計画年数	3年	4年	5年
付加価値額(営業利益+人件費+減価償却費)		9%以上	12%以上	15%以上
経常利益(営業利益-営業外費用)		3%以上	4%以上	5%以上

【支援策の内容】 ①政府系金融機関による低利融資 ②税制措置 ③信用保証の特例 ④県補助金 など

【問い合わせ先】 県庁経営金融課 経営支援係 TEL: 099-286-2944(直通)、FAX: 099-286-5576
E-mail: shien@pref.kagoshima.lg.jp

実践！10活用

さあ、ホームページを始めましょう

(財)かごしま産業支援センターのEC(電子商取引)コーディネーター坂ノ上です。

ホームページによる通信販売(ネットショップ)や、インターネットを利用したビジネスの無料相談対応をしています。

相談には、ホームページを積極的に活用して「どのようにすれば売上げを伸ばすことができるか?」と相談される企業もありますが、まだホームページを持っておらず「これからホームページを始めよう」という企業も少なくありません。

◆なぜ多くの会社がホームページを作るのか?

ホームページで通信販売をしなれば、もちろん直接的な売上げは上がりません。ではなぜ多くの会社がホームページを作るのでしょうか?

ホームページを作る理由は様々ありますが、やはり一番は「ホームページの訪問者が店舗に来てくれるようになった」、「離れた地域の企業から問い合わせの電話があった」、「開店時間を調べようと思っホームページを見たお客様に、新しいサービスを告知することができた」など、少しずつ効果がでてくるということです。

そして「このホームページは良くできていて、お客様本意が伝わってくるな」というお客様へのサービスであり、ブランド力向上のためです。

①きっかけ作り

②お客様へのサービスサポート

③会社・製品のブランド力向上

この3つは直接売上げに結びつくものではありませんが、じわりじわりと売上げに貢献してくるものではないでしょうか。

今では、ホームページはあっても当たり前になりつつあります。それはまるで電話やFAXのようです。「あそこはホームページを持っています」ではなく、「あの会社にはホームページがないの?」という感想がでてくるほどです。

◆意外と見られているホームページ

ホームページをまだ作っていない企業の方には、「ホームページを作っても誰も見ないのでは?」

と思いの方も多いのではないのでしょうか?

しかし、意外とホームページを見る方は多いのです。家のパソコンでホームページを見る人はまだ少ないように思いますが、会社のパソコンや携帯電話など、気になることがあればすぐにインターネットで調べることができます。

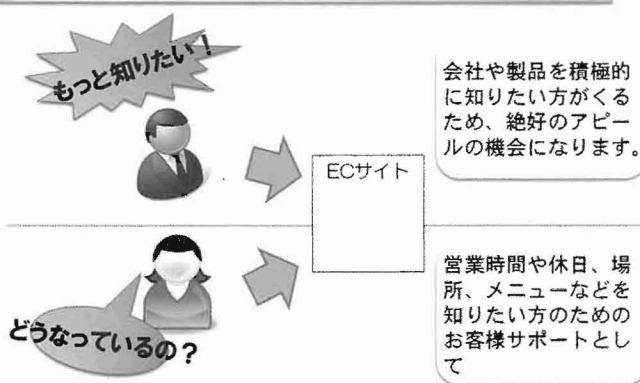
例えば、銀行員や営業マン、取引先、総務担当の方などは、「訪問前に企業情報を調べておかないと」、「あの施工をした会社は他にどんな事例があるのか」、「あそこの企業の住所や電話番号は何だったかしら?」など、ホームページを頼りに調べることも少なくありません。

また、主婦の方や、捜し物をしている方。「あそこのクリーニング店は何時から開店してたかしら?」、「革のバッグを修理してくれるところはないかな?」など、お店のサービスを知らたくてホームページを見にきます。

そう、ホームページは「知りたいたい!」と思う人が見に来てくれるものなのです。

これは、テレビやラジオ、新聞、チラシなど、従来のメディアと大きく異なる点です。こちら側から「知ってください」と出ていくのではなく、お客様の側から「教えてください」と訪問してくるのです。

「知りたい」人が見るのがホームページ



◆ホームページにはどんな情報を載せるのか?

「ホームページを作っても載せる情報なんてないしなあ」

本当にそうでしょうか?

会社を見つめ直すと、驚くほど多くの情報が詰まっています。

会社概要

「会社名」や「住所」、「電話番号」など基本となる情報をはじめ、「代表者挨拶」「沿革」「取引先企業」などを載せることができます。

製品・サービス情報

ホームページの中心となるページです。製品紹介であれば、製品

の基本情報やどんな使われ方をするのかを載せます。製品が多い場合には一覧にして、そこから個別の紹介ページを作成することもあります。製造業であれば、機械の一覧や、その機械で製作された物などを載せることもあります。サービス業であれば、どんな時に、どんなサービスを受けることができるのか、時間や内容、雰囲気などを伝えることが重要になります。

事例

事例は、製品・サービス情報以上に、訪問者に訴えることができます。事例として紹介してもかまわないかどうか、取引先に確認をとった上で、なるべく多くの事例を載せると効果的です。

事例の紹介では、事例を羅列するだけではなく、工夫した点や苦労した点、あるいはどのように活用されているのかなど、訪問者が共感できるような紹介を行うと効果的です。

スタッフ紹介

サービス業であれば、どのようなスタッフがいて、その「人柄」や「実績」が訪問者へのアピールになります。製造業でもどのようなスタッフがいて、何が分かると、訪問者に安心感と信頼感を持つてもらえることができます。ホームページは相手に直接会うことができません。それはお客様が

見えないという不安だけではなく、店員や従業員が見えないというお客様側の不安でもありますので、不安感を払拭できる工夫が必要です。

業務報告(日記)

日々の業務について、ホームページに記載するのも効果的です。例えば、車販売業であれば「最近降灰が続いていますので、念入りに洗車をしています」とか、製造業であれば「今月の安全点検日でしたので、皆でしっかりと確認を行いました」など。自分たちにとっては当たり前の内容が、訪問者の方へのアピール、信頼作りにつながります。

ホームページで発信する情報の内容は、普段お客様が目の前にいるときに話をする内容と同じです。お客様に話をするように、ホームページの訪問者に対して内容を考え、文章を書くことで、「安心」「信頼」をもってもらえるホームページを作ることが出来ます。

◆ホームページはお客様からのアクション

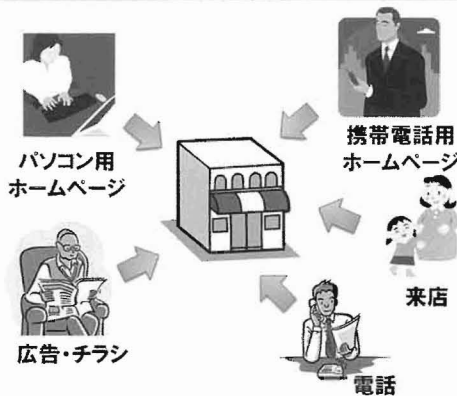
ホームページはお客様から行うアクションです。お客様があなたのお店や会社に行きたいと思ってホームページを見ていただいているのです。ホームページが無いということは、お店が休業日である

ことや、電話やFAXが通じないことと同じように、こちら側からお客様に対して扉を閉ざしているのと同じです。

ホームページは、朝でも、夜でも、休みの日も、いつでもお客様に見ていただける絶好のツールです。チラシや広告と異なり、掲載量も自由がききます。写真だけではなく、ビデオを流すこともできます。

もちろん、ホームページを作れば「誰でも」「すぐに」効果がでるとは限りません。ホームページを作ったあとも、お客様のニーズや季節、サービス内容に合わせて変えていかなければなりません。実際の店舗と同じように手入れをしていく必要があります。しか

お客様の訪問手段はさまざま



☆筆者紹介☆

坂ノ上 守夫 (Sakanoue Morio)

(財)かごしま産業支援センター
EC(電子商取引)コーディネーター

TEL:099-219-1275

E-MAIL:info@po.kric.or.jp



し、よく手入れがされているホームページは、よく手入れがされている店舗と同じように、作り手側の思いにきくと応えてくれるはず



発表する加藤部長

農作物を霜害や害虫から守る全自動
散水・止水制御装置の製造・販売

株式会社日本計器鹿児島製作所
代表取締役 青柳 衆一
南九州市知覧町郡5159-1
TEL:0993-83-2663 FAX:0993-83-4480
E-mail:info@nkworks.co.jp
http://www.nkworks.co.jp

発表内容

〈企業紹介〉

弊社は、昭和51年旧知覧町の誘致企業として創業を開始いたしました。主に電子部品（半導体）の製造を行っております。

また、弊社が立地する南九州市及び薩摩半島一体では農業が盛んであることから、農家向けの省力化機械等の設計・開発・製造にも取り組んでいます。

〈商品開発のきっかけ〉

農家の「より安心・安全なお茶栽培を！」という思いに少しでも役に立てないかという視点から研究を進めたところ、薬剤を使用せず、水だけでクワシロカイガラムシを防除する方法があることを知りました。この水を制御する部分を弊社の防霜用スプリンクラー散水・止水制御装置の一部を利用することにより、防除に効果的な散水が可能になりました。

まさしく、農家さんの現場での一言が、当商品開発のスタートでした。

〈商品の特徴〉

お茶の防霜システム（スプリンクラーで水をまく）を用い、散水方法を工夫することにより、難防除といわれるクワシロカイガラムシのふ化を大幅に抑制できる散水制御装置

◇乾電池で動く『単3電池4本』

1 場所を選ばない

（電気工事不用）

2 電気代不用

3 雷の被害が無い

（故障しにくい）

◇止水時間を自分で選択できる

散水10分固定

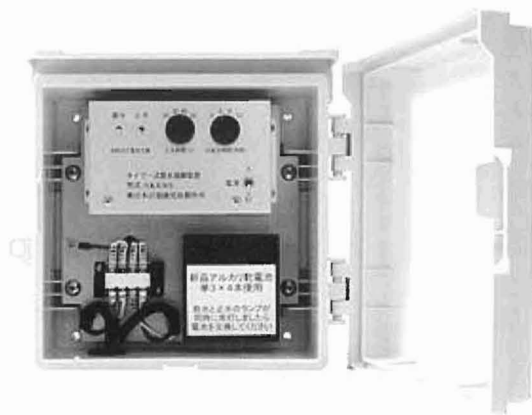
止水20分、30分、40分、50分の切り替え有り

◇一日の散水繰返時間も4段階

3時間、6時間、9時間、12時間

◇24時間タイマー機能

初日のみセットで毎日同じ時間に動作



【クワシロ防除散水制御装置】

発表後の成果・感想

多くの方より問い合わせをいただきました。大変ありがとうございました。私たちの開発した商品が世の中に認められ、またお褒めの言葉をいただき嬉しくおもいます。

また、今回発表の機会を与えていただきましたことを大変感謝致しております。

今後の展望

今、農商工連携が叫ばれています。私たちの力を農業に活かし、安心・安全な作物を栽培する農業に有用な商品の開発を続けてまいります。そして、常に地元に貢献できる企業を目指したいと考えております。



【お茶畑での導入事例】

平成21年度鹿児島県トライアル発注制度に係る 発注製品等の決定！

県では、県内の中小企業等の振興を促進するため、県内に本社・本店を有する中小企業等が開発した製品等について、県の機関が試験的に発注し、販路の開拓や受注機会の拡大を図る「鹿児島県トライアル発注制度」を平成17年度から実施しています。

平成21年度は、3月26日から4月24日に製品等の募集を行い、30製品等(16社)の応募がありました。これらについて県トライアル発注選定委員会での審議を踏まえて、10製品等(8社)を決定しました。

平成21年度トライアル発注制度で選定した製品等一覧

区分	事業者名	所在地	製品等名	製品等の特性	電話番号
備品・消耗品 (5件)	(株)鹿児島イーデン電気	鹿屋市	光触媒複合塗料「イーデンペイント」を用いた遮熱・断熱・抗菌・防汚の工法	光触媒複合塗料「イーデンペイント」を用いて、遮熱・断熱・抗菌・防汚の効果を得る塗装工法	0994-44-6396
	(有)タラチネケミカル	日置市	水アカ・油膜除去剤「GR-Z1」を使用したリメイク施工法(一般建築物ガラス)	シラスバルーンを利用した水アカ・油膜除去剤「GR-Z1」を使用した一般建築物のガラスのリメイク施工法	099-296-6877
			水アカ・油膜除去剤「GR-Z1」を使用したリメイク施工法(自動車ガラス)	シラスバルーンを利用した水アカ・油膜除去剤「GR-Z1」を使用した普通自動車のガラスのリメイク施工法	
	(株)日本計器鹿児島製作所	南九州市	カイガラムシ防除散水制御装置	散水間隔をタイマーで設定することによりカイガラムシの防除ができる電池式自動散水制御装置	0993-83-2663
	(株)ハラダ精工	鹿児島市	多機能ソーラー照明灯「サンサンクス24」(カレンダー制御有り)	ソーラーパネルにより太陽光で発電する、防犯灯や案内板等に利用できる多機能LED照明灯(点灯・消灯時間を月ごとに設定できる機能付き)	099-298-3520
工事用部材 (5件)	(株)鹿児島イーデン電気	鹿屋市	光触媒複合塗料「イーデンペイント」を用いた遮熱・抗菌・防汚の工法	光触媒複合塗料「イーデンペイント」を用いて、遮熱・抗菌・防汚の効果を得る塗装工法	0994-44-6396
	コアツ工業(株)	鹿児島市	シラスを使用した断熱舗装工法「シラス断熱ロード」	シラスを使用した断熱舗装工法	099-229-1115
	(株)長野組	志布志市	BS工法により製作したケーソン	使用した型枠を取り外すことなく傾けて清掃し、上部をスライドさせて製作していく安全施工・工期縮減を目的とした工法により製作したケーソン	099-474-2196
	林建設(株)	鹿児島市	水抜き穴補強筋「ワレン」(格子型)	モルタル吹付工の水抜き穴周辺のクラック発生を防止する水抜きパイプ補強用の鉄筋(従来型に比べて製造しやすく、施工時の作業性が向上した改良型)	099-254-8612
	豊和直(株)	鹿児島市	イワダレ草付き緑化パネル(基盤)	シラスバルーンと焼酎粕を混入発酵させた軽量のイワダレ草付き緑化基盤	099-295-2988
10製品 8社					

平成20年度鹿児島県トライアル発注制度に係る発注製品等を評価しました！

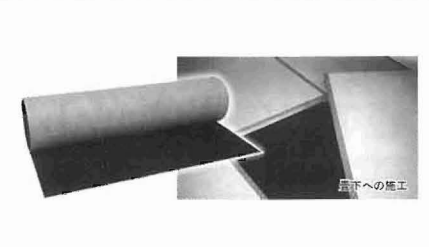
トライアル発注製品等については、県の機関で使用した後、その有用性について評価を行います。

今年度は、平成20年度に発注製品等として決定した12製品等のうち、平成21年3月末時点で評価が可能であった11製品等について評価を行い、トライアル発注選定委員会での審議を経て、11製品等全てにおいて有用性が認められました。

なお、発注製品等の評価の詳細につきましては、下記URLをご覧ください。

URL <http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/syoko/trial/20/20hyoka.html>

◆備品・消耗品等（7社9製品等）

製品等名 【事業者名】	製品等の 概要	主な評価内容 【使用（施工）場所】	製品等写真
内外装仕上げ材 「しらす壁」 【アース化研(株)】	シラスを活用した内外装仕上げ塗り壁材	・施工面に結露や剥離等の問題は発生していない ・施工面に物があたり傷がついても、傷部の上に塗料を塗ることで容易に補正できた ・普通の塗料に比べ、手で触れた時に暖かい感触があった 【工業技術センター】	
土壌水分センサー 【(株)A・R・P 鹿児島事業所】	操作が簡単で精度の高い土壌水分測定器	・土壌水分含量（体積水分率）と出力値（電圧）の相関関係は高く、実用に十分耐えられる ・体積水分率と出力値の換算表を作成することにより、リアルタイムで土壌の水分状態が把握でき、的確な水分管理が可能である 【農業大学校】	
消臭シート (17.5cm×14cm) 【(株)エコ・テクノ】	不織布に竹炭塗料を消臭シート	・靴箱やゴミ箱へ使用したが、異臭のこもりが少なくなる等消臭効果は顕著にみられ、その期間も持続した ・実験用昆虫の飼育容器内部の異臭が軽減され、調湿効果も認められた 【県文化センター、川内厚生園、農業開発総合センター、伊集院高等学校】	
炭シート 【(株)エコ・テクノ】	不織布に竹炭塗料を口状のシート	・地下の楽屋の畳は、サラサラした感触が得られ、地下特有の臭いも従来より軽減された ・居室等に敷設し、利用者からのダニ等の虫さされの訴えはなかった 【県文化センター、川内厚生園】	
電照菊用高輝度LED電球 【(株)エルム】	電照菊の開花調整用の高輝度LED電球	・赤色の高輝度LED電球としてよく発光し、期待したスプレー菊の花芽分化抑制効果が得られた ・カメムシ類などの害虫を誘引することはないようであった 【農業開発総合センター】	

製品等名 【事業者名】	製品等の 概要	主な評価内容 【使用（施工）場所】	製品等写真
ダウンライト用 高輝度LED電球 【㈱エルム】	ダウンライト用の高輝度のソケット式白色LED電球	・発光反応は迅速で電球型蛍光灯より優れている ・光の色は、白熱電球の方が暖色系であると感じた ・白色ダウンライトとして十分に白熱電球に代替可能であると感じた 【県文化センター、工業技術センター、農業開発総合センター】	
ぴっかんぴっかん （トイレ水アカ 防止） 【豊和直㈱】	シラスバールを固めた容器と粒によりトイレの水を浄化する水アカ防止剤	洋式トイレタンクの中に製品を入れ、便器の水アカ発生具合を検証したところ、製品を使用していない便器と比べると水アカが少なかった 【加世田高等学校】	
植物育成用 固定LEDライト 【㈱日本計器 鹿児島製作所】	植物育成や開花調整に効果的で、発熱が少なく、寿命の長い赤色LEDライト	・植物の室内育成用光源としては、植物の徒長抑制効果が認められた ・また、使用途中で、当方からの要望に応じて行われた2点の改良措置により、安全性、耐水性が向上した （改良点：ライトの角を樹脂系の剤で埋めた、LEDライトに樹脂コーティングを施した） 【農業開発総合センター】	
雑草抑止用 木質マルチチップ 【(有)明豊エコ・テクノ】	吸水性が高く、雨に流されにくい、雑草を抑止する木質チップ	・従来の手作業での除草作業が不要となり、概ね期待どおりの抑草効果が確認できた ・チップそのものに抑草効果が認められるが、下地に不織布を組み合わせた方がより抑草効果が高いと思われる 【農業大学校】	  【施工前】 【施工後】

◆工事用部材（2社2製品等）

製品等名 【事業者名】	製品等の 概要	主な評価内容 【使用（施工）場所】	製品等写真
焼酎粕コンクリート 製消波・根固ブロック 【鹿児島共和コン クリート工業㈱】	コンクリートに焼酎粕を配合した消波・根固用のブロック	・従来のコンクリートブロックに比べると、早期に藻が付き小魚が集まっている ・藻による水質浄化作用が確認された 【湯谷川：始良郡湧水町】	
水抜き穴補強筋 【林建設㈱】	モルタル吹付工の水抜き穴周辺のクラック発生を防止する水抜きパイプ補強用の鉄筋	・水抜き穴補強筋があることで、従来の施工法より水抜きパイプを容易に、確実に所定の角度に固定できた、また、モルタル吹付のホースとの接触、吹付圧によるズレが防止され、施工効率が向上した ・施工後の効果については、長期的な観察が必要 【鹿児島市小野地区】	

「鹿児島県トライアル発注製品販路開拓支援事業費補助金」による出展助成

平成20年度から、トライアル発注製品等を県外で開催される展示会等に出展する際、「鹿児島県トライアル発注製品販路開拓支援事業費補助金」を交付し、出展経費の一部助成を行っています。

平成21年度は、これまでに3社に対して助成しております。

◆ 助成内容

- 対 象 トライアル発注製品等保有企業
- 展 示 会 等 県外で開催され、国・都道府県等が主催または後援するもの
- 補助対象経費 製品等の搬送経費、展示会参加者1名の旅費・宿泊費
展示会小間料、パンフレット制作費等
- 補 助 率 1/2以内（上限20万円）

◆平成21年度の助成企業（平成21年9月現在）

企業名	(株)小田畳商会	林建設(株)	(株)A・R・P 鹿児島事業所
出展製品 (選定年度)	洗える畳「洗畳」(18)	水抜き穴補強筋 「ワレン」(20)	土壤水分センサー(20)
展示会名	中小企業総合展 2009 in Kansai 主催: 中小企業基盤整備機構 共催: 中小企業庁他	中小企業総合展 2009 in Kansai 主催: 中小企業基盤整備機構 共催: 中小企業庁他	第111回フクオカ ベンチャーマーケット ビッグマーケット 主催: フクオカベンチャーマー ケット協会、福岡県他
開催期日	平成21年5月27日～29日	平成21年5月27日～29日	平成21年7月21日～22日
開催場所	インテックス 大阪 (大阪市住之江区南港北)	インテックス 大阪 (大阪市住之江区南港北)	アクロス福岡 B2イベントホール (福岡市中央区天神)
出展風景			

問い合わせ先：鹿児島県 商工労働部 産業立地課

TEL：099-286-2964

FAX：099-286-5578

E-Mail：sangyo@pref.kagoshima.lg.jp

研究開発の現場

鹿児島工業高等専門学校
土木工学科

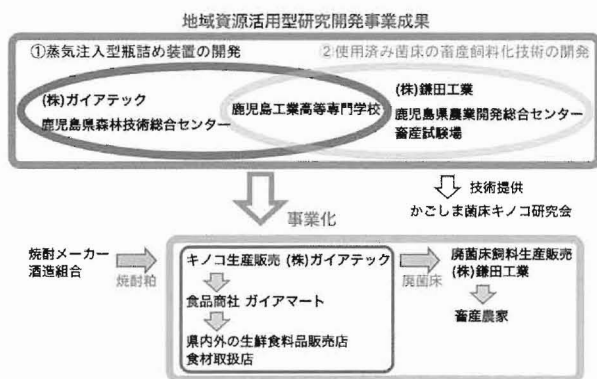
食品廃棄物の有効利用

について



霧島市隼人町真孝 1460-1
鹿児島工業高等専門学校
土木工学科 准教授 山内正仁

きのこ生産を核とした焼酎粕乾燥固形物の多用途再生技術の確立
平成19年度に採択された経済産業省地域資源活用型研究開発事業において、鹿児島高専を中心とした研究グループでは培地基材にしが屑（針葉樹、広葉樹）、栄養材に甘藷焼酎粕乾燥固形物を利用



研究実施体制

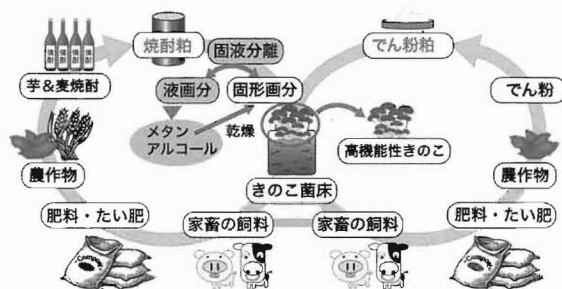
し、焼酎粕中の有用成分を多く含んだ高付加価値きのこを収量性の高い状態で安定生産可能な技術を開発しました。また、きのこ収穫後に発生する廃培地については、発酵TMR飼料の粗飼料、濃厚飼料の代替として活用し、綿羊、乳用牛による給餌試験を実施しました。その結果、廃培地を5〜10%混合した発酵TMR飼料は家畜への給与は可能であることがわかりました。これにより、食品（きのこ）↓家畜飼料↓肥料と段階的にその品位に応じて再生利用するカスケード技術が確立されました。現在、この技術をさらに発展させ、さつまいもでん粉粕をおが屑の代替として利用できないか検討しています。



焼酎粕培地で栽培したエリンギ

焼酎粕・でん粉粕の機能性食品化を起点とする経済・物質同時循環システムの構築

平成20年度環境省廃棄物処理等科学研究費補助金を用いて、まず、焼酎粕、でん粉粕できのこ培地を作製し、指標作物として利用されているきのこ（ヒラタケ）を接種し、本培地がきのこ培地として利用可能か検討しました。その結果、甘藷由来の食品廃棄物からきのこを発生させることに成功しました。次に薬用効果、人体に対する機能性を示す成分を含むことが報告され、消費者の健康ニーズに合致したきのことして市場に流通し始めたヤマブシタケを用いて栽培試験を行い、菌周リ日数、総栽培日数、収量などから焼酎粕、でん粉粕の最適培地配合条件を検討しました。その結果、焼酎粕添加率40〜60%、でん粉粕添加率36〜56%、貝化石4%（いずれも乾物重量%）の割合の培地でヤマ



焼酎粕・でん粉粕の資源循環システム

ブシタケを栽培すると、収量は標準培地の1.9〜2.2倍になることがわかりました。また、最適配合条件で栽培した子実体の一般成分及びアミノ酸、有機酸、機能性成分などを調査し、従来培地などで栽培した子実体と成分比較を行い、本培地材料によるきのこの諸特性を明らかにしました。さらに、培地材料費は、でん粉粕を活用することによって大幅に削減できることがわかりました。今年度は、鹿児島県農業開発総合センター畜産試験場において、廃培地を用いた発酵TMR飼料を作製後、乳用牛および綿羊で消化試験を実施し、採食性と消化性を検討する予定であります。

受発注情報

当センターでは、仕事を発注・受注したい企業の希望条件（設備・技術力等）に見合った取引の紹介あっせんを行っております。今月は、下記の企業から受注の申し込みがきておりますので、あっせんの希望がありましたら御連絡ください。

また、センターのホームページでも御覧いただけます。（URL：<http://www.kric.or.jp>）

◆受注情報

No.	所在地	資本金 (万円)	従業員数 (人)	受注希望品目 (加工内容)	主要機械設備
1	霧島市	300	6	電子部品等の組立 各種検査業務	電動ドライバー 半田設備一式

◆お問い合わせ先 (財)かごしま産業支援センター ビジネス支援課
TEL:099-219-1274 FAX:099-219-1279
E-Mail:business@po.kric.or.jp

平成21年度 九州7県合同広域商談会（緊急広域商談会）のお知らせ

関西地区を中心とした発注企業との取引開始及び業界動向・技術等に関する情報交換を行うことを目的として、「九州7県合同広域商談会（緊急広域商談会）」を開催いたします。

今回は、福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県の九州7県支援機関と全国中小企業取引振興協会の合同で開催することになっております。

当商談会は、大手・中堅発注企業の外注・購買担当者と直接商談できる絶好のビジネスチャンスとなりますので、参加申込みをされた皆様は、新規取引先の開拓や情報収集の場として有効に御活用いただきますようお願いいたします。

また、来年2月に鹿児島市内で開催する「取引情報交換面談会」については、追って御案内させていただきますので、その際は参加への御検討をお願いいたします。

◆開催概要

- 【日時】 平成21年11月18日（水）13:20～19:00
- 【場所】 ホテルグランヴィア大阪 大阪市北区3丁目1-1
TEL:06-6344-1235
- 【参加企業】 発注企業 42社、受注企業 7県で約100社（予定）
※受注企業の参加申込みは終了しておりますので御了承をお願いいたします。
- 【対象業種】 機械、金属、電気、電子、ソフト関連企業
- 【開催日程】 12:30～ 受付
13:20～13:30 開催セレモニー・主催者挨拶
13:30～17:00 個別商談会
17:20～19:00 交流懇談会

◆個別商談会の内容

- 【面談方式】 発注企業の面談小間を設置し、受・発注企業が組み合わせ表に従って面談を行う個別面談方式（20分間／回）。 ※面談組み合わせは、発注企業からの逆指名を優先して決定。
- 【面談数】 発注企業1社につき、受注企業8社との指定面談を行う。指定面談後の20分間は自由面談とする。

◆お問い合わせ先

(財)かごしま産業支援センター ビジネス支援課 担当：内木場（ウチコバ）
TEL:099-219-1274 FAX:099-219-1279 E-MAIL:uchikoba@po.kric.or.jp

Information

1 かがしま食と健康フォーラム 2009の御案内

鹿児島の次代の産業を担う新たなバイオ・食品産業群の創出を目的に、大学や企業の研究者が取り組んでいる先端バイオ・食品技術の研究事例などを県民の皆さまに御紹介します。

- 日 時■ 平成21年11月14日(土) 10:00~12:30 (受付9:30~)
- 場 所■ 鹿児島県市町村自治会館 401号室
- 対象者■ 食品・飲料・健康・バイオ業界・一般の方などどなたでも参加できます。
- 参加料■ 無料

プログラム

第1部(10:00~)

- 「奄美黒糖もろみエキスからメラニン抑制・美白素材の開発」
藤井 信 [鹿児島大学農学部 教授]
- 「新開発の流動食(在宅介護等食品)について」
えびす 戎 五郎 [(株)大塚製薬工場 メディカルフーズ事業部
学術・PPMグループ 学術担当課長]
- 「薩摩の農文化を世界へ」
川崎 暢義 [日本有機(株) 代表取締役会長]

第2部(11:45~)

- 「新商品開発企業などのパネル展示」 (9社)
(株)大塚製薬工場 日本有機(株) 濱田酒造(株)
大海酒造協業組合 西酒造(株) (株)ジーピーフーズ
(有)霧島高原ロイヤルポーク (株)オキス (有)渡辺商店

お問い合わせ (財)かがしま産業支援センター 産学官連携課

TEL:099-214-4770 FAX:099-214-4771 E-mail:sangaku@po.kric.or.jp

2 「シラス」シンポジウムの御案内

本県の地域資源である「シラス」の有効活用を図るため、「シラス」に関する基礎知識、利用の現状や可能性などについて県民の皆さまに御紹介します。

- 日 時■ 平成21年11月14日(土) 13:30~16:30 (13:00開場)
- 場 所■ 鹿児島県市町村自治会館 4階ホール
- テーマ■ ~火山のめぐみ「シラス」の可能性と未来~
- 基調講演 大木 公彦(鹿児島大学総合研究博物館館長)
- パネルディスカッション
【コーディネーター】 神野 好孝 (鹿児島県工業技術センター所長)
【パネリスト】 ・上中 誠((株)ストーンワークス代表取締役)
・瀬戸口 和徳((有)瀬戸口瓦工場専務取締役)
・前村 格治(鹿児島市公園緑化課長)
・又野 佳洋子((株)天元代表取締役社長)
・松若 譲二(アース化研(株)代表取締役)

※シラス関連製品等の展示

(13:00~13:30, 14:35~14:55, 16:30~17:00)

会場内にシラス関連製品等を展示

主催 かがしま産業おこしフェア2009実行委員会

お問い合わせ 鹿児島県産業立地課

TEL:099-286-2970 FAX:099-286-5578

E-mail:gijyutu@pref.kagoshima.lg.jp



会場の案内

* 車は、県庁南駐車場をご利用下さい

上野原ビジネスプラザ・インキュベーターの御案内

当センターの上野原ビジネスプラザでは、起業家や新たな事業分野への展開を目指す中小企業の方々に、24時間無料でインターネット接続サービスが利用できる快適で低廉な料金のインキュベーターを用意し、皆様の入居をお待ちしています。

・インキュベーター 22室（平成21年10月1日現在 7室が空室）

面積：31.5㎡～111.15㎡

月額使用料：49,612円～131,853円（敷金不要）

なお、創業5年未満の企業については、使用料の減免があります。

所在地：霧島市国分上野原テクノパーク4-30



■問合せ先■（財）かごしま産業支援センター 上野原ビジネスプラザ

〒899-4317 霧島市国分上野原テクノパーク4-30

TEL：0995-45-3511

FAX：0995-48-5270

E-mail：gyoumu@po.kric.or.jp

「かごしま企業情報」への掲載の御案内

当センターでは、県内中小企業の情報発信の充実と検索等の利便性を図ることを目的に、当センターのホームページ上に「かごしま企業情報」を構築し、掲載企業の募集をしています。

インターネットを使用しての登録・更新が可能で、登録企業側の操作もしやすくなっています。

一社でも多くの企業に掲載していただければビジネスチャンスの拡大に繋がることが期待されます。掲載料は無料ですので、お気軽に御登録ください。

■問合せ先■（財）かごしま産業支援センター 情報支援課

TEL：099-219-1275

FAX：099-219-1279

E-mail：info@po.kric.or.jp

センターホームページ「KISCネット21」の御案内

センターのホームページを御覧になったことがありますか？
こんなメニューがあります。

- ・センター・関連機関からのお知らせ
- ・ニーズ別に制度や業務相談窓口の紹介
- ・センターの調査物・刊行物の紹介
- ・ビジネスに役立つお勧めサイト など

ぜひ、御覧ください！！ URL：<http://www.kric.or.jp/>



■「情報KISC」の今月の表紙■

表紙写真は、「さつま町産南高梅、さつまいも（種子島紫原種いも）を活用した、オリジナル商品の開発と販路拡大」で地域産業資源活用計画の認定を受けた

株式会社 風月堂

代表取締役 馬場 甚史郎 さんです。

所在地：鹿児島市上福元町5626

TEL：099-267-4748

情報KISC 10月号

発行者：財団法人かごしま産業支援センター

〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 鹿児島県産業会館2F

TEL 099-219-1270（代表）

FAX 099-219-1279

E-mail kisc@po.kric.or.jp

URL <http://www.kric.or.jp>